

令和 7 年度第 1 回「官民技術交流会」開催のご案内

(開催趣旨は 別紙 1 をご覧ください)

1. 開催日時

令和 7 年 11 月 21 日 (金) 15:30～19:10

第 1 部 15:30～17:15 港湾空港技術研究所および会員からのプレゼンテーション

第 2 部 17:20～19:10 港湾空港技術研究所と会員との相互の技術交流

2. 場所

霞山会館 「松雪」 (霞山の間 Room1)

東京都千代田区霞が関三丁目 2 番 1 号 霞が関コモンゲート西館 37 階
TEL 03-3581-0401 (代)

3. 交流会の対象領域

港湾空港技術研究所 構造研究領域

4. 官民技術交流会のプログラム

【第 1 部】研究計画・展望等のプレゼンテーション 15:30～17:15

司会進行：港湾空港技術振興会

開会挨拶 港湾空港技術研究所

15:30-15:40

港湾空港技術振興会

プレゼンテーション

15:40-17:15

1) 港湾空港技術研究所からのプレゼンテーション

「構造研究領域の紹介」 山路 徹 構造研究領域長

「構造研究グループの研究展望」 田中 豊 主任研究官

「構造新技術グループの研究展望」 川端 雄一郎 構造新技術研究グループ長

「材料研究グループの研究展望」 山路 徹 材料研究グループ長

小池 賢太郎 主任研究官

2) 会員からのプレゼンテーション

【第2部】相互の意見交換・交流 17:20～19:10

司会進行：港湾空港技術振興会

挨拶および乾杯

港湾空港技術振興会

意見交換・技術交流

- 1) 立食形式：港空研側からの参加者は、各テーブルに分散します。
- 2) 意見交換・交流の話題：
 - ・研究テーマについては、できるだけ第1部で発表したテーマに限ります。
 - ・また、対象研究領域に関する、研究交流（共同研究・研究会など）、港空研への会員研究者の派遣（依頼研修員など）についての意見交換も期待しております。
- 3) 内 容：お互いに壮大な夢を語ります。
- 4) 総 括：会員会社からの参加者には、各社から一人、1分程度で今回の技術交流会について自らの言葉で総括（感想）の発表をお願いします。
(時間が極めて短いため、自己紹介は控えください)

5. 参加費

6,000 円／人 （当日、受付でお支払いいただきます）

6. 参加者募集および参加者申込みの方法

- ・会員会社からの参加者を募集します（会員各社で対象研究領域の研究・技術・マネジメントに関係される幹部・ご専門の方、1～2名）。定員は30名です。
- ・今後、港湾空港技術研究所の対象研究領域に関する研究面での交流を希望される会員の参加も期待します。
- ・参加希望者は、会社住所、会社名、役職、氏名、電話番号、メールアドレス、CPD 及び CPDS の希望の有無を明記して、下記の一般社団法人港湾空港技術振興会事務局までメールでお申し込みください。
- ・申し込みの締め切りは、11月4日（火）としますが、それより前でも定員に達した時点で締め切らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

《お願い》

参加のお申し込みは、各社2名までお受けいたします。

ただし、1名については先着順で受け付けますが、残りの1名につきましては締切まで受け付けを保留し、定員に余裕があった場合にのみ受け付けることとします。

そのため2名お申し込みの場合は、優先順位を付けてください。

7. 会員からのプレゼンテーションの募集

構造研究領域の今後の進むべき方向、将来展望について、10分程度のプレゼンテーションをしていただける方を募集します。将来に向けてのアイデア的なものでも結構ですし、より具体的な取り組み事例でも結構です。

応募いただける場合は、簡単に2～3行程度で概要をお知らせ下さい。なお応募者多数の場合、または対象領域以外のテーマの場合などは、ご希望に添えない場合があります。

8. ご注意

官民技術交流会は第1部と第2部がセットになっています。どちらか一方のみへのご参加申し込みは受け付けません。

参加をキャンセルされる場合は、11月14日（金）正午までにご連絡をお願いいたします。それ以降のキャンセルのご連絡、あるいはご連絡なしに当日参加されなかった場合には、キャンセル料として6,000円をご負担いただきますので、あらかじめご了解ください。

9. その他

CPD 及び CPDS について、プログラム登録を予定しております。

受講証明書は、あらかじめ申し込み時に希望をされた方に対し第1部終了後にお渡ししますが、その際には、本人を確認できる書類（運転免許証などの顔写真付きの証明書）を必ずご提示ください。

連絡先

一般社団法人港湾空港技術振興会 事務局 柳嶋

〒239-0826 横須賀市長瀬 3-1-1

Tel.046-843-6558 Fax.046-843-2821

e-mail kwgishin@ace.ocn.ne.jp

官民技術交流会の開催趣旨

(一社) 港湾空港技術振興会

(一社) 港湾空港技術振興会(振興会)は、会員会社に国土技術政策総合研究所(国総研)と港湾空港技術研究所(港空研)の研究成果などを以下のような方法で提供してきました。

- * 研究報告・資料等の図書の印刷及び配布
- * 研究者による講演会の開催
- * 両研究所主催の各種行事の案内
- * “報告”・“資料”のバックナンバーのコピーサービス

これらは、最新の研究成果を会員各社に届けるという重要な意義がありました。ただし、いずれも研究終了後のまとまった成果の提供でしたので、研究所と会員との技術情報の交換は難しいものでした。そこで、研究者と会員各位との技術交流の場を持つために、港空研と振興会が協議して、別紙の内容で「官民技術交流会」(交流会)を両者の共催で開催する運びとなりました。交流会では、まだ成果が出ていない現在進行中の研究内容や今後の展開、将来の研究計画、期待される研究成果とその社会実装等をテーマに両方で意見交換を図ることにしています。港空研は研究者が計画性や戦略性を持って民間企業の方々と意見交換を行い、今後の研究活動を開いていく上での重要な情報・ヒントを得ることのできる場と捉えています。一方、振興会は会員各社が港湾・空港に関する国の技術政策に係る研究について計画段階から把握することによってそれぞれの経営戦略に活かし、また研究所との連携を図りながらより現場に適した技術を早く入手できる契機となる場になることを期待しています。

また、対象研究領域に関する、研究交流(共同研究・研究会など)、港空研への会員研究者の派遣(依頼研修員など)についての意見交換も期待しております。

交流会は二部で構成されています。

第1部では、主に港空研が特定の研究領域について研究計画・展望等のプレゼンテーションをおこないます。

第2部は、第1部のプレゼンテーションの内容を踏まえて、各研究者と個別に、研究内容の詳細の確認や自社の経営戦略を鑑みた研究への期待や要望等を披瀝すること等を通じて相互の交流を行うこととしています。つきましては、対象研究領域の研究・技術に関係される幹部・ご専門の方にご参加頂き、会員各社の技術開発戦略等に活かせる情報を積極的に入手することをお願いする次第であります。

構造研究領域の研究内容

【構造研究グループ】

構造研究グループでは、港湾・空港・海岸等構造物の構造設計と維持管理に関する研究を行っています。構造設計分野では、設計・照査手法の高度化や新形式構造の開発を、維持管理分野では、保有性能評価・予測、点検診断、補修・補強などの要素技術の開発とその体系化を目指しています。



大型構造実験施設

【構造新技術研究グループ】

構造新技術研究グループでは、港湾・空港・海岸等のインフラにおける様々な問題解決に向けた研究を行っています。特に、脱炭素社会に向けた CO2 排出量の削減技術やグリーンインフラとグレーインフラのハイブリッド技術、さらにはインフラの設計や維持管理のための新技術等の開発に取り組んでいます。

【材料研究グループ】

材料研究グループは、コンクリート、鋼材、各種防食工法などの海洋環境下における長期耐久性について、実環境を模擬した当研究所所有の暴露施設(海水循環水槽、海水シャワー暴露場)や、実海域中にある波崎海洋観測栈橋での暴露試験等を基に、40年以上も前から継続して検討を実施しています。コンクリートの塩害・耐海水性、鋼材の防食工法等に関する多くの研究成果を挙げています。



長期暴露試験施設（左：海水シャワー暴露場，右：海水循環水槽）